

平成 30 年度シラバス

教 科	科 目	単位数	履修学年・クラス
数学	数学 7 限 (希望制) 【進学希望】		1-1・1-A

1. 学習の到達目標

小・中学校の既習分野の中で、多くの生徒が苦手とする割合・関数等の復習を行い、上級学校入試験問題に対応するための基礎力を身につける。また、数学 I の分野の基礎的内容の確認とその発展問題を取り扱い、問題を解くにあたり必要な考え方や想像力・応用力を身につける。
毎回の小テスト・または宿題にて授業内容の定着を図る。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力確認テスト ・数と式の計算 ・方程式 (1 次・2 次方程式) ・割合・速度 ・関数(比例・反比例・1 次関数・2 次関数) 	<p>確認テストにて、小学校・中学校既習分野の修得度合いを確認する。</p> <p>確認テストの結果より、苦手分野を再確認するとともに、上級学校入試問題に取り組み、応用力を身につける。</p> <p>数と式・方程式については、数学 I の進度に合わせて、応用問題に取り組み、より深く理解する。</p>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の面積・体積 ・三平方の定理 ・2 次関数応用 ・集合・命題応用 	<p>基礎力診断テスト対策として図形の面積・体積・三平方の定理を復習する。</p> <p>また、基礎力診断テストの結果より苦手分野を復習・修得する。</p> <p>2 次関数・集合・命題では、入試問題に取り組み、必要となる考え方・応用力を身につける。</p>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比応用 ・データの分析応用 	<p>基礎力診断テストの結果より苦手分野を復習・修得する。</p> <p>三角比・データの分析における基礎を確認し、入試問題を通してその応用力を身につける。</p>

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	
------	--

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容				

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	プリント・One Week トライアル 11・12 (適宜配布する)
副教材	